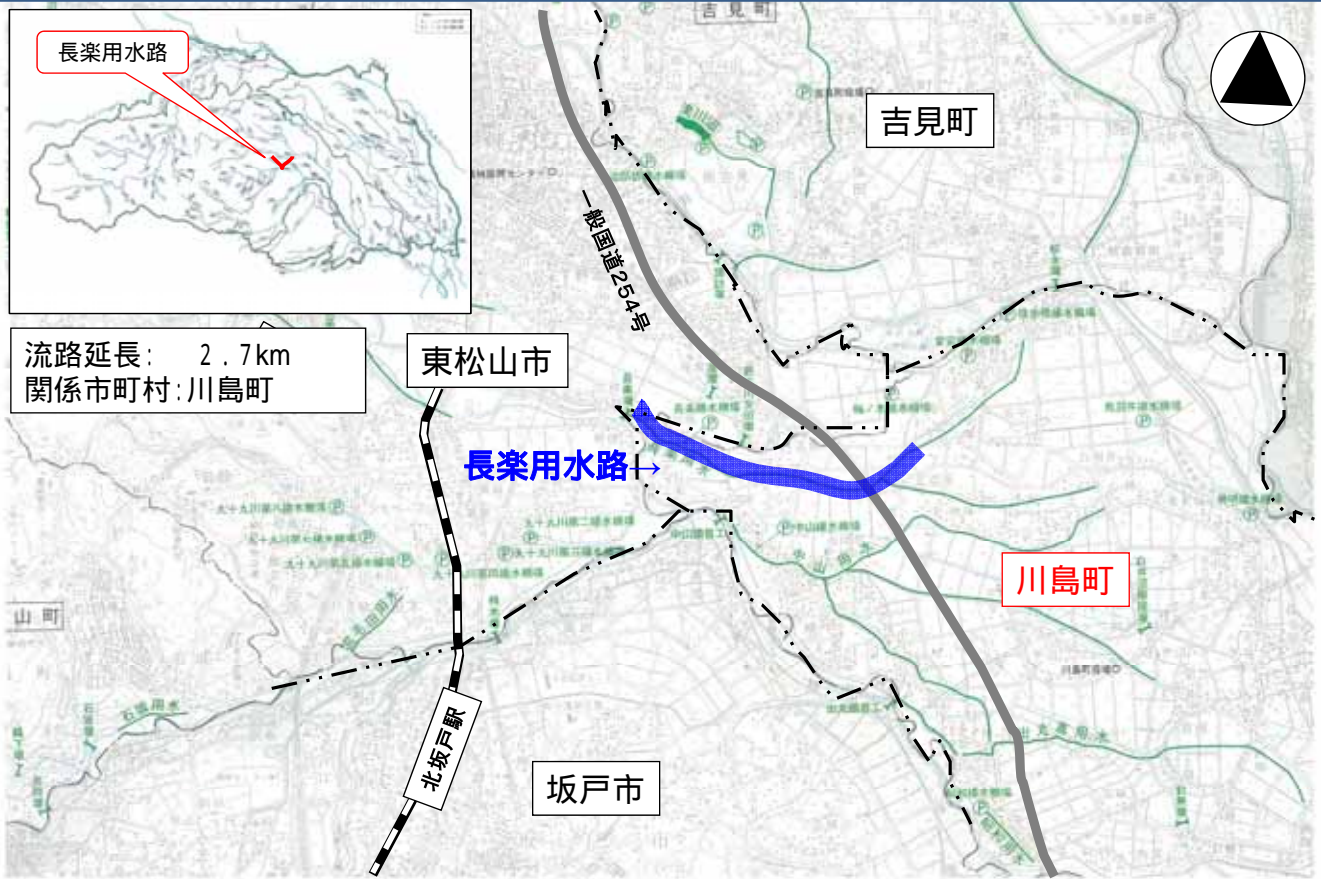


長楽用水路の概要



川島町

町の名にあるとおり四方を川に囲まれた川島町は、多くの水田風景や親水空間が形成されており、今後自然との共生が一層重要な課題となると考え、自然が織りなす景観を保全するとともに、その魅力を引き出すまちづくりを推進します。

市町村域とまちづくり・川の関係(案内図)



まちづくり等の課題

川島町は四方を川に囲まれ自然環境に恵まれているが、これらの自然を基調とした景観を十分に活用できていなかった。

長楽用水路は都幾川を水源とし、きれいな水が流れ込み、多くの水生生物が生息している。また沿線には「埼玉こども動物自然公園」へとつながる自転車道があるが、水辺で親しめる空間が整備されていなかった。

目標・テーマ

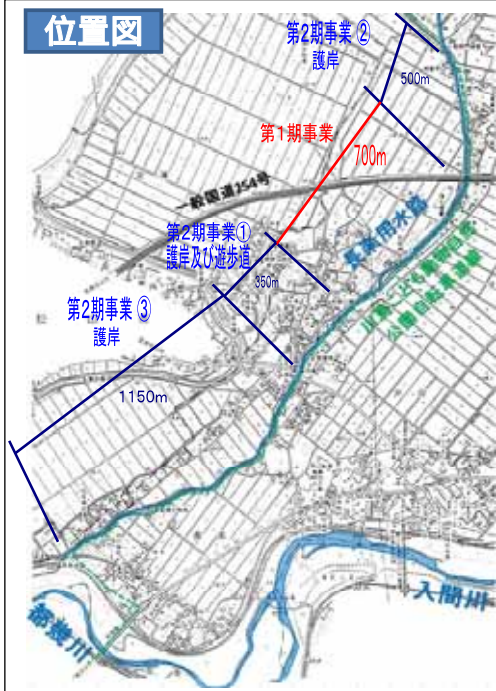
都会に一番近い農村として自然や田園風景を保全し、その魅力を引き出すまち。

親水空間やビオトープなどが人々の憩いの場となり、自然にやさしい水と緑のネットワークのあるまち。

県に実施してほしい取組

川島町は四方を荒川、入間川、越辺川、都幾川に囲まれ、自然環境に恵まれています。また町内には長楽用水路をはじめ、多くの水路や水田が昔ながらの景観を残しつつ広がっていますが、長年手つかずのまま荒れてしまっていました。そこで、崩れてしまった護岸や遊歩道を整備することにより、人々が水辺で親しめる空間を創出することができます。

位置図



実施してほしい取組の概要

崩れてしまっている護岸を、自然と一体となるような木柵による整備。

人々が水や魚、植物と親しめるよう、遊歩道の整備。

工程表

	H24	H25	H26	H27
護岸整備	350m	500m	550m	600m
遊歩道整備	-	350m	-	-



川島町では、埼玉県の水辺再生事業を活用し、平成22年から平成23年の2年間で護岸や遊歩道の整備等のハード事業を行い、豊かな自然と田園環境を活かしたまちづくりを進めています。また、水質保全のため合併浄化槽の推進や環境学習、農地・水により地元組織への財政的な支援を進めていきます。

位置図



事業等の概要

良好な水質を保全するため、合併浄化槽の推進を町内で年間100件を予算化(H23年度)。また、長楽用水路に流れ込む区域については年間約20件程度を今後も予定。環境に関心を持つ人材を育成するため、社会教育を通じた環境学習の推進や、地元小学校による水路の生態系調査及びホテルの放流など、自然(水路)に親しみながら行う環境学習を予定。
貴重な水生生物の保護及び、昔のように多くのホテルが飛び交う水路となるよう、水辺環境の整備及び環境保全条例の制定を行っていく。
農地・水環境保全事業による地域共同活動(維持管理)の推進。

工程表

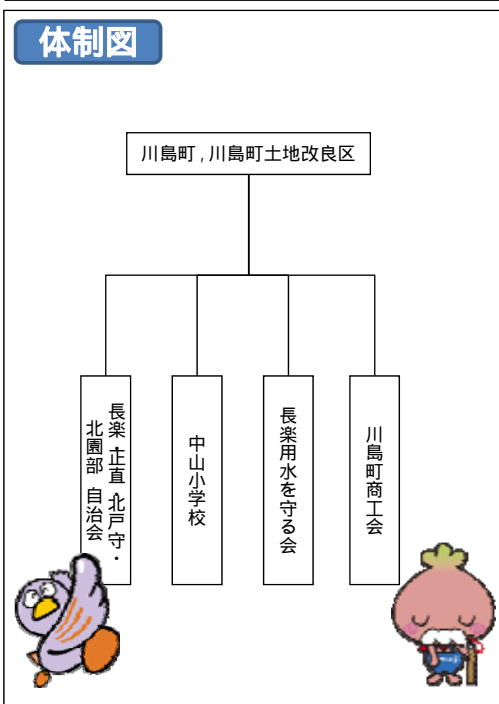
	H24	H25	H26	H27
合併浄化槽の推進	啓発及び財政支援	啓発及び財政支援	啓発及び財政支援	啓発及び財政支援
環境学習の推進	学校との連携	学校との連携	学校との連携	学校との連携
地域活動の推進	財政支援	財政支援	財政支援	財政支援



地域連携・維持管理等の概要

長楽用水路水辺再生計画は、河川管理者や水辺環境の保全に関わる地元団体や住民とともに検討します。また、長楽用水の清掃活動等をしている地域住民へ現在行っている支援を継続し、より良い水辺環境となるように町ぐるみで活動を継続していきます。

体制図



地域連携の概要

長楽用水路の整備内容は、地域住民や関係者間で広く意見交換して検討します。水辺環境の保全を行っている地域住民を支援していきます。住民やNPOが主体となるよう取組み、川島町の目標の一つである「人・自然・環境を大切に魅力あふれるまちづくり」を推進します。

取組全体のアピールポイント

川島町では、自然との共生に重点を置いたまちづくりを目指しています。地域の共同による維持管理体制が、既に構築されています。本取組は長楽用水を中心に、田園風景の広がる水と緑のネットワークのあるまちづくりを目指すものです。町民の自然を愛する気持ちは、周辺の市町村と比較しても高いと感じられます。